

6年

学級通信

「すみれ」

No. 5
H 29. 3. 14
曾我小学校



○卒業に向けて

卒業式まであと5日となりました。毎朝のカウントダウンスピーチで、子どもたちは小学校生活の終わりが近づいてきていることを、徐々に実感しています。

さて、卒業が近づいてきた先週は、「〇〇の日ウィーク」として、6年間の学習のまとめを行ってきました。実施に向けては、総合の「私たちの卒業プロジェクト」で準備をしてきました。

〈1日目「ボランティアの日」〉



月曜日はボランティアの日。国語の「パネルディスカッション」の学習で、卒業前に、学校への奉仕活動について考え、たくさんのアイデアが出てきました。その中から、「特別教室等の清掃」「学校の備品の修理」の2つの事柄を行うことにしました。

前半は備品の修理ということで、朝礼台の修理と塗装を行いました。実施に際しては、芹沢工務店の芹沢さんと、おやじの会の石井典克さんと枝野充宏さんのご協力をいただきました。

子どもたちの活躍によって、曾我小の朝礼台が再び新品のように輝きました。芹沢さんにも「これは君たちの子どもの代まで使えるぞ」と言っていたき、子どもたちも誇らしげでした。

後半は、清掃活動。理科室、家庭科室、図工室、音楽室に分かれて作業しました。棚にしまわれた備品を全て出して掃除することは大変でしたが、子どもたちは一生懸命に作業しました。

〈2日目「理科の日」〉



理科の日は、子どもたちが「大地のつくりと変化」の学習で、「実際に見てみたい」と話していた、地層と岩石についての学習をすることとしました。

講師として元中学校の理科の先生である長山高子先生をお招きして行いました。長山先生は子どもたちの使用している「小田原の自然」などの副読本のを執筆や、小田原の自然観察会の講師を行っている、その道のプロです。

今回は宗我神社裏の剣沢にある「弓張りの滝」と学校近くの竺土寺の土手の観察を通して、国府津松田断層について理解を深める内容となりました。剣沢では隆起の様子を調べるとともに、丹沢の石を集めました。子どもたちは収集が大好きなので、かなりの時間をかけ石を拾っては

「この石は何ですか？」と質問していました。そんな子どもの質問一つひとつに、大変丁寧に答えてくださった長山先生には大変感謝です。

竺土寺では地層と、断層の様子を観察しました。子どもたちは、自分の住んでいる近くに、地層が見えるところがあるという発見に驚きながら、その土を集めていました。

学校に戻ってからは、集めた石を使って標本を作りました。中学校で扱う内容ですので、その時に生かせるといいなと思います。



〈3日目「体育の日」〉

自己記録表

〈陸上〉

50m走	秒
ソフトボール投げ	m
高飛び	m cm
幅飛び	m cm

〈器械体操〉

マット運動	
とび箱	
つばう	

千原29年 月 日 体育の日の担当

6年間の体育学習のまとめとして、記録証を作ることを目的に行いました。また、普段の授業では最終回までできないソフトボールを最後まで行うこともできました。

今回使用した記録証は、体育の日グループの子が作りました。また実施する種目も子どもたちが「最後に測っておきたい」と提案したものです。

記録を取りながら、今までの最高記録を出せた子も多くいました。そして何より、どの子も真剣に取り組んでいたことが素晴らしかったです。

〈4日目「社会の日」〉



6年生は、社会の歴史学習が大好きです。そこで歴史を実際に見てふれることができる機会を設けることにしました。

行き先は、子どもたちのアンケートで戦国時代の史跡になりました。そこで、小田原市に住んでいるからには、小田原城について深く知ってもらおうと思い、小田原城の見学を行うことにしました。

また、体育大会のとき、城山陸上競技場で発掘調査をしている時期で、

「先生、発掘しているところがみたいです!」

と、子どもたちが話していたため、「実際の発掘の様子を見学できたらいいな」と思い、小田原市文化財課にお願いをして、発掘現場を見せてもらえることになりました。

小田原駅に到着後、北条氏政の墓所と幸田口門を見学し、その後いよいよ発掘現場へ。



発掘現場は小田原城学び橋付近にある、マンションの建築予定地です。江戸時代の武家屋敷があった場所だそうです。文化財課の方の案内と解説を聞きながら、子どもたちは実際の発掘の様子を食い入るように見つめていました。説明後は出てきた遺物を触らせてもらいました。子どもたちがあまりに熱心に質



問を行うので、発掘現場の方も掘り出したばかりのものを触らせてくれたり、解説してくれたりしました。子どもたちの中には「どうやったらこの仕事に就けるのか?」「実際に発掘をしてみたいけど、どうしたらできるのか?」などの質問をしている子もいました。

発掘の熱が冷めぬまま、次なる小田原城の見学。入場者数70万人突破記念のバッジや入場券や絵はがきのお土産をもらいつつ、楽しく見学することができました。展示品には曾我小学校所有の甲冑があり、発見できた子は「なんで!?!」と、叫んでました。(館内でするので静かに)



食事のあとは小峰御鐘ノ台大堀切という空堀の見学をしました。大人でも越えるのは一苦労な大きさと、子どもたちがそれを実感できたことはよかったなと思います。



様々なことが行われた〇〇の日ウィーク。学習を楽しみながらも、子どもたちの心にたくさんのことが残ってくれたらいいなと思います。

